


 他にも教えて。


経常収支比率とは、町税など、毎年決まって入ってくる収入の中から、義務的経費や公共施設の維持管理経費など毎年固定的に支払わなければならない経費の割合のこと。全国的に財政が厳しいため、90%を超える自治体も多いようなんだ。

実質公債費比率とは、町の収入に対する負債返済の割合（過去3年間の平均）のこと。前年度と比べ上がっているけど、18%以上だと新たな借金をするためには国の許可が必要ということから、これも心配ないね。

将来負担比率とは、貯金や見込まれている収入に対し、将来負担する借入金の残高などの割合のこと。市町の早期健全化（イエローカード）の基準は350%なので、これも心配ないね。

 すべての
決算は？

 右表の
とおりよ。


令和6年度歳入歳出決算

一般会計	歳入	142億1821万円	歳出	136億5284万円
国民健康保険特別会計	歳入	31億8669万円	歳出	30億7425万円
後期高齢者医療特別会計	歳入	5億7038万円	歳出	5億5316万円
介護保険特別会計				
保険事業	歳入	31億973万円	歳出	30億3801万円
介護サービス事業	歳入	2151万円	歳出	2047万円
水道事業会計	収益的収入	5億8997万円	収益的支出	4億1940万円
	資本的収入	22億1783万円	資本的支出	23億9994万円
下水道事業会計	収益的収入	4億9474万円	収益的支出	3億9282万円
	資本的収入	3億3385万円	資本的支出	5億7609万円

※水道事業会計・下水道事業会計ともに、資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、当年度消費税などで補てんしています。

監査委員からの審査報告と提言



○ 一般会計

主要な財政諸指標は良好な状態

- 1 社会保障関係費は今後も増加することが見込まれるので、全国の類似団体の状況なども踏まえ、適正な範囲の維持を。
- 2 納税の公平性を確保するため納税者の推移や動向を分析し、より効果的な徴収方法の見直しや今後予想される納税者数の減少にも目を向け、徴収率改善のための新たな方策の検討を。
- 3 これまで行ってきた経費節減に加え、DXを更に推進し、各部署の業務を横断的に見直すことで無駄をなくし、職員の負担軽減と業務効率の向上を。
- 4 事務事業シートにある課題を単なる現状分析に留めず、未来志向の視点で活用し、そこから導き出される新たな改革案の実行を積極的に。

○ 水道事業会計

- 1 最適規模の施設による効率的な運営を目指し、長期的な計画に基づいた安定的な経営を。
- 2 給水人口の減少など、収益的に厳しい状況が予想されるため、経常経費の削減や徴収率向上など経営改善に向けた取組を。
- 3 令和7年度から水道料金の改定が行われているが、今後の経営改善状況の分析をしっかりと。
- 4 経営戦略の基本方針に基づいた計画的な経営の実行と経営環境の変化に対する質の高い見直しにより、将来にわたっての安定的な事業継続を。

○ 下水道事業会計

- 1 収益の基盤である下水道使用料を着実に徴収できるよう整備済区域における未接続世帯の早期接続の促進を図り、より適切な運営に向けての経営努力を。
- 2 収益的収支には一般会計が負担する経費が含まれており、今後も、適正な経費負担区分を前提とした独立採算の原則に立ち、経営の健全化を。
- 3 企業債の現在高は減少してきているが、今後も動向に注意しながら運営を。
- 4 経営戦略の基本方針に基づいた事業推進に努め、決算分析や社会状況の変化を捉えた事後検証を行うことで、将来にわたっての安定的な事業継続を。